

科目 現代の国語

单位数： 2 单位

使用教科書：（大修館書店『現代の国語』

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力ようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・ 聞	書	読					
1 学期	1 要点をつかむ 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。	・叙述を的確にとらえる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。 【教材】『水の東西』『「動」への変化』	○	○	○	「文章の要点をつかむ」話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。	○	○	○	10
	2 意見を示す 「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いのしかたや結論の出し方を工夫すること。	・他者と意見を交流し、アイデアを出し合う。 ・アイデアを整理し、さらに発想を広げる。	○	○	○	「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いのしかたや結論の出し方を工夫している。	○	○	○	
	定期考査						○	○		1
	3 的確に伝える 実用的な文章に興味を持ち、その意図や表現上の工夫をとらえたり、わかりやすく書いたりする学習に取り組むこと。	・話し言葉の特徴を知る。 ・相手に正確に伝わるようにわかりやすく書く。	○	○	○	実用的な文章に興味を持ち、その意図や表現上の工夫をとらえたり、わかりやすく書いたりする学習に取り組んでいる。	○	○	○	10
	4 論理をとらえる 論理的文章を読むことに興味を持ち、論理関係を意識して読むこと。	・主張と根拠、理由付けの関係をとらえる。 【教材】『動的平衡としての生物多様性』	○	○	○	論理的文章を読むことに興味を持ち、論理関係を意識して読んでいる。	○	○	○	
定期考査							○	○		1
2 学期	5 資料を駆使する 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使うこと。	・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 【教材】『「安くておいしい国」の限界』	○	○	○	情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。	○	○	○	10
	6 情報を比較する 複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえること。	・複数の文章を比較し、共通点や相違点をとらえる。 【教材】『「美しさの発見」について』	○	○	○	複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえている。	○	○	○	
	定期考査						○	○		1
	7 他者を動かす プレゼンテーションをすることに意欲を持ち、聞き手の心を動かす話をしようとして工夫すること。	・聞き手の心を動かす話し方を工夫する。 ・資料にもとづいて、効果的に発表する。	○	○	○	プレゼンテーションをすることに意欲を持ち、聞き手の心を動かす話をしようとして工夫している。	○	○	○	10
定期考査							○	○		1
3 学期	9 考えを発信する 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。	・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。 ・読み取った情報を活用する 【教材】『白/作業ロボットの悲劇』『言葉についての新しい認識』	○	○	○	9 考えを発信する 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	○	○	○	12
	定期考査							○	○	1 合計 57